

ユーモアあふれる絵とおはなしに笑顔

～子ども読書フェスティバル～

12月19日、「子ども読書フェスティバル」が天草市民センター展示ホールで開かれ、親子連れなど180人が参加しました。イベントでは、牛深地区読み聞かせボランティアグループ「読聞読聞輪組輪組なかま」によるパネルシアターが行われたほか、絵本作家・長谷川義史さん（大阪府）を招いて講演会を実施。絵を描きながらお話をする“ライブ紙芝居”では、長谷川さんのユーモアあふれる絵と軽妙な語り口に、会場は笑顔に包まれていました。



▲“ライブ紙芝居”で絵を描く長谷川さん

日ごろの訓練の成果を披露

～消防出初式～

新春恒例の「消防出初式」が1月10日、牛深中学校グラウンドで行われ、市消防団員など約1,200人が参加しました。同式では、整列隊形や規律などの通常点検や放水競技を実施し、団員らは日ごろの訓練の成果を発揮していました。結果は、通常点検が御所浦方面隊、放水競技は河浦方面隊がそれぞれ優勝しました。このほか、愛隣幼稚園幼年消防クラブによるはしご乗りや、御所浦町婦人消防隊、牛深地区少年消防クラブによる放水が披露されました。



▲地上20メートルに設置された球を目がけ放水を行う団員

地域の福祉のために

～社会福祉功労者表彰～

このほど、民生委員・児童委員の伊藤智玄さん（深海町）が、平成21年度社会福祉功労者として厚生労働大臣から表彰を受けました。これは、多年にわたり社会福祉の推進に貢献した人や団体に贈られるもので、地元で憎りよをしている伊藤さんは、同委員になって29年。長く地域と行政などとの架け橋を務めた功績が高く評価されました。伊藤さんは「もう一度初心にかえる良い機会になった。今後とも地域の福祉のために貢献を続けたい」と話していました。



▲表彰状を手にする伊藤さん

新成人おめでとう！

～成人式～

1月3・4日、「成人式」が市内9つの会場で開催され、合計752人の新成人が出席しました。同4日に御所浦町の御所浦小学校体育館で行われた同式には、着物やはかまなどの晴れ着に身を包んだ新成人41人が出席。式典では、新成人を代表して竹下和さんが「逆境の時代を前向きに考え、立派な社会人になるように精進したい」と決意を述べたほか、出席者全員が自身の近況や今後の抱負を発表するなど、久しぶりの友人との再会を楽しんでいました。



▲新成人としての決意を述べる竹下さん

無病息災を祈願しながら7日正月を楽しむ

～御所浦地区・鬼火焼～

1/7
御所浦

1月7日、御所浦地区で正月恒例の「鬼火焼」が御所浦漁港の広場で行われました。これは、地域住民の今年1年の無病息災を祈願しようと毎年行っているものです。

竹などで組まれた約5メートルのやぐらに火が付けられると、家庭から持ち寄ったしめ縄や正月飾りなどが一気に燃え上がりました。集まった住民は、竹の先に付けた“もち”を燃え上がる炎で焼き、おいしそうにほおばりながら、7日正月を楽しんでいました。



▲竹の先につけた“もち”を焼く住民

今年1年の健康を願って

～一町田八幡宮・寒詣～

1/5～7
河浦

1月5日から7日にかけて、一町田八幡宮で「寒詣」が行われました。これは、二十四節季のひとつである“小寒”にあわせて、住民の無病息災を願おうと毎年実施。同7日には、早朝から宮司が吹くほら貝の音を合図に、子どもやお年寄りなど50人が同宮境内に集合。参加者は、おはらいを受けた後「ヨイサ、ヨイサ」と声をかけながら、両手を高く突き上げる“天突き体操”や、船をこぐ動作をまねた“ろこぎ体操”を行い、1年の健康を祈願しました。



▲“天突き体操”を行う参加者

地域の魅力を楽しんで歩こう！

～新春通詞島ウォーク～

1/10
五和

1月10日、地域の魅力を楽しみながら健康づくりを図ろうと、二江まちづくり振興会主催による「新春通詞島ウォーク」が行われました。この催しには、通詞島を周遊する約4kmのコースに、帰省客や家族連れなど120人が参加しました。参加者は、新春の潮風を受けながらマイペースで歩き、弁天様の伝説が残る三宮では全員が新春の思いを祈願。その後、同振興会のオリジナル賞品などが当たる輪投げ大会が行われ、今年初めての運試しを楽しみました。



▲じゃがいも畑の中道を笑顔で歩く参加者たち

楽しい！こま回しを体験

～独楽回し体験教室～

1/13
本渡

1月13日、「第10回独楽回し体験教室」が本渡北小学校で開かれ、本渡北地区の民生委員・児童委員や同校4年生など140人が参加しました。これは、本渡北地区民生委員児童委員協議会が、子どもたちに昔ながらの正月遊びを体験してもらおうと毎年実施。使用したこまは、元・同協議会会長の高岡善雄さんが製作・提供され、児童みずから色付けをした特製品。児童たちは、同委員の手ほどきを受けながら、夢中になってこま回しを楽しんでいました。



▲こまの長回し競争。セーの、それっ！